

市政を問う

一般質問
10名の議員登壇

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。

◆令和4年2月28日

1. ^{とくみね かずなり}徳峰 一成 (日本共産党) P14

○高すぎる介護保険料の引下げを ○所信表明にある農家の所得倍増

2. ^{かただ ひろし}片田 洋志 (れいわ会) P15

○新型コロナウイルス感染症 ○児童福祉施設等 ○曾於市のSDGsの取組
○中学校のスクールバス

3. ^{さこ すぎお}迫 杉雄 (無所属) P16

○農業振興 ○教育振興

4. ^{いずみ ゆうき}出水 優樹 (れいわ会) P17

○JA末吉地区諏訪給油所の廃止 ○有害鳥獣対策 ○サッカー場

5. ^{やがみ ひろゆき}矢上 弘幸 (れいわ会) P18

○芙蓉部隊の資料展示 ○不登校 ○こども食堂

◆令和4年3月2日

6. ^{かみむら たつお}上村 龍生 (創政会) P19

○財部高校跡地獣医学関連施設(南九州畜産獣医学拠点事業)整備
○医療費削減につながる健康寿命延長策

7. ^{いまづる はるのぶ}今鶴 治信 (創志会) P20

○コロナ感染症対策 ○農業振興 ○ふるさと納税

8. ^{せとぐち えり}瀬戸口 恵理 (れいわ会) P21

○子ども・子育て支援事業 ○新型コロナウイルス感染症による自宅待機世帯の支援事業
○環境基本計画 ○官民連携

9. ^{いわみず ゆたか}岩水 豊 (新生会) P22

○令和4年度施政方針

10. ^{やまなか まさと}山中 雅人 (れいわ会) P23

○曾於市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画 ○地域コミュニティ活性化推進事業
○ふるさと納税 ○外国人定住支援





一般質問の様子

高すぎる介護保険料の引き下げを

市長／負担割合は決まっている



市長 介護保険料は、国県市、被保険者の負担割合が決まっており、基本的にできない。

市長 市長の退職金廃止を
実行した、そうした革
新的な取組を介護保険
でもされるよう、強く
要求したい。

問 ではなぜ、昨年・
今年と一般会計から財
源を繰り入れて、市民
の負担軽減をしなかつ
たのか。

市長 そうした認識は
もっている。

問 介護保険料（65歳
以上の1号被保険者）
が年間収入の1割をこ
える市民は、634人
と多い。市民の負担能
力をこえているとの認
識か。

所得表明の農家の 所得倍増

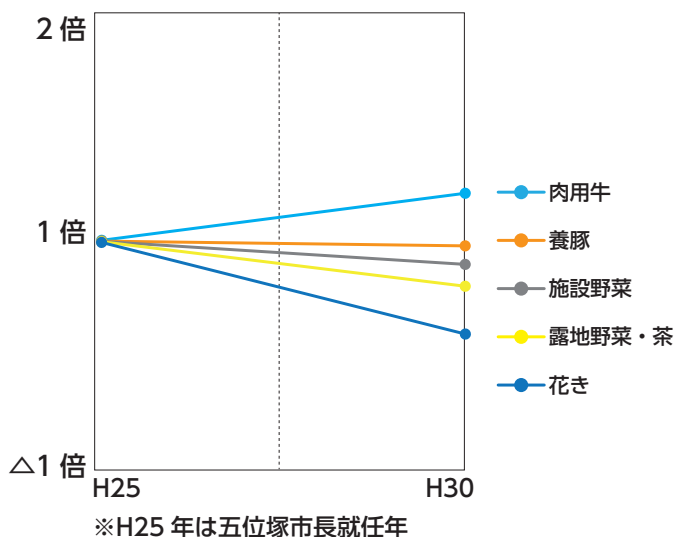
問 市長の毎年の所信
表明に、農家所得の倍
増がある。対象となる
のは認定農家などで5
年間に倍増との説明だ
が、この5年間の所得
の伸びを聞きたい。

市長 肉用牛1・2倍、
養豚0・9倍、露地野
菜0・8倍、施設野菜
0・9倍、茶0・8倍、
花き0・6倍である。

問 2倍ではなく、5
年前より所得が下がっ
ているではないか。実
体から離れた所得倍増
の文言ではなく、実効
性があり農家に期待感
がもてる所信表明に見
直したらどうか。
併せて、曾於市の園
芸作物はこの間生産額

市長 所得倍増は、倍
ぐらいに増やしたい気
持からである。また目
標値をもち、検証がし
やすいやり方を、今後
検討したい。

この5年間の農家の所得の伸び



ちょっとひとりごと

介護保険料は、市民の
負担能力をこえている。
こえつつある現状を
市長は直視すべき





新型コロナウイルス感染症 について今後の支援策は！



一般質問の様子

**市長／令和3年度の事業継続と
販売農家への一律5万円給付**

問 ワクチン接種状況と今後の課題は。5歳以上12歳未満の今後の接種予定は。

市長 2月23日現在で1回目接種者2万8016人、2回目接種者2万7784人、3回目接種者7217人である。ワクチン交互接種への不安から接種が進まないことが懸念される。

保健課長 5歳以上12歳未満の接種は3月13日からの予定である。

問 新型コロナウイルスの今後の支援策の予定は。

市長 ワクチン接種時の75歳以上へのタクシー利用料の助成、PCR検査希望者への一

部助成、傷病見舞金の支給、令和3年度中に農業収入があり、引き続き農業経営を営む販売農家へ一律5万円給付する計画である。

児童福祉施設等

問 現在、認定こども園に移行している設置者が多くなっている中、今後、建物の老朽化に伴う施設整備を行う設置者に施設整備費の上限額を国の定める補助基準額に合わせる考えはないか。

市長 現在は考えていないが今後、他のかたちで応援したい。

SDGsの取組

問 SDGsの取組の中で「未来都市」に選

定されることを目指していく考えは。

市長 SDGsの取組に参加することは大事である。

SDGs(持続可能な開発目標)をもっと知ろう



中学校のスクールバス

問 スクールバスと思いやりタクシー等を通学手段として利用を検討し、子どもの安心安全を担保できないか。

市長 検討する。



子どもの安心安全を担保するスクールバス

ちょっとひとりごと

SDGsの取組が
地方創生の第一歩
未来都市を目指すこと





一般質問の様子

農業振興に畑かん事業を活かすべきでは

市長 曾於北部土地改良と連携し、将来に向けて小水力発電所を調査・検討する。



問 曾於北部畑かん事業の推進及び水利用作物の状況は。

市長 令和3年度末の事業進捗は事業ベースで123億3000万円、進捗率57%、水利用面積は120haである。水利用作物は、かんしょ・ごぼう・ユズなどの普通畑作物のほか、ハウス・茶を中心としている。

問 完工・貯水開始の令和9年度までの事業推進と水利用・作物生産の安定化の見通しは。

市長 令和10年度を目標準年度に設定し、曾於地域畑かんがい営農ビジョンに基づき、水利用による農業経営の安定化を図る。

問 太陽光発電所からの繰入金に加えて、水の

利用の小水力発電事業を検討すべきではないか。

市長 今後の小水力発電については、売電単価の推移や施設更新費用の検討など詳細な検討が必要であると考える。当面は現在の太陽光発電施設で継続して売電できるよう、曾於北部土地改良区との連携に努める。



曾於北部谷川内ダムに設置されている太陽光パネル

教育振興

問 曾於市教育振興基本計画に基づき地域での青少年育成状況について、故郷に学ぶ・育む教育はどうであるか。

教育長 コロナ禍のため、青少年を対象にした育成事業のほとんどが中止または延期となり、郷土に学ぶ・育む教育は、十分な成果が得られていないと考える。

問 コロナ収束を見通し、新たな地域での青少年の健全育成はどうであるか。コミュニティ協議会との連携を考えるべきではないか。

教育長 地域のすべての方が参加するコミュニティ協議会との連携は、青少年育成の活性化のためにも不可欠と

考える。

問 本市独自の教育振興宣言等に関する宣言看板を設置すべきではないか。

市長 曾於市の発展に期する独自の標語宣言看板の設置を検討する。



曾於市をアピールする宣言看板の設置を

ちょっとひとりごと

地域活動に子どもたちを巻き込むことで、地域教育力が向上し、青少年の健全育成につながる！





JA末吉地区諏訪給油所の廃止について



一般質問の様子

市長／JAの事情もあると思うが、地域の声が上がリ、存続について要望した

問 署名は何名集まったのか。

市長 2639名の署名が集まった。

問 JAが民間委託で給油所を存続してくださるとのことだが、委託する業者をご存じか。

市長 元JA関係者が引き継ぐと伺っている。

問 今後も市内でこのような問題が出てくると考えられるが、市長の見解は。

市長 このような事案はJAのみならず、他の事業者等においても想定されることから、今後も事業者等の事情に配慮させていただいた上で、住民生活への影響及び市政運営への影響等を総合的に勘案し、対応を検討していく。

有害鳥獣対策

問 ワイヤーマッシュ防護柵の補助はこの補助金で、設置要件はあるのか。

農林振興課長 令和4年度から曾於市でも農林水産省の事業を活用し、取り組む。

要件については受益戸数が3戸以上となっており、耕作者の他、人・農地プランの協定等に基づいて水路や農道の管理を行っている者、畜産農家が対象である。特段面積等には条件はないが、整備後に管理していただくことが条件となっており、定額補助となっている。防護柵は、耕作している農地の周りに設置することを条件としている。

問 なぜ山の周りに設

置しないのか。

農林振興課長 この事業については設置する場所は受益地になる。山に設置した方が良いが、山林の所有者に許可を得るのに時間を要するためである。

サッカー場

問 以前、サッカー場建設について話があったが、現在の考えは。

市長 市内のチームからたくさんさんの要望があったので市でも検討している。

問 曾於市の周りには都城市・霧島市・鹿屋市と10万人を超える市があるが3市あり、その中心にあるのが曾於市である。人が集まるのに良い地域である。市長の見解は。

市長 利便の良い所である。将来の子ども達のために必要だと想っている。



広いサッカー場を望んでいる子どもたち

ちょっとひとりごと

様々な問題と計画がある中で市民と行政が1つになって、曾於市を盛り上げたいですね。





一般質問の様子

芙蓉部隊の資料館設置について



市長／十分検討させて頂きたい。

問 曾於市内の小中学校の不登校の人数は。

不登校

市長 平和教育に非常に大事な施設で、埋蔵文化財の役割もはたしているので十分検討させて頂きたい。

問 資料館設置の要望書が芙蓉会から出ているが市長の見解は。

教育長 教育委員会として芙蓉部隊を平和学習に役立てて下さいと伝えていない。

問 末吉・財部の学校は。

教育長 7月に大隅南小の5・6年生の5人と教師2人である。

問 埋蔵文化財センターに芙蓉部隊の資料展示をしてから曾於市内の小中学校の利用者数は。

学年	割合	人数
小学生	1.00%	(100人に1人)
中学生	4.09%	(24人に1人)
計	2.05%	(49人に1人)

文部科学省令和2年度全国児童生徒の不登校等に関する調査結果

教育長 不登校の児童・生徒の多くは、自宅で過ごしている。学校との繋がりを大事にして、子供だけではなく、悩んでいる保護者の支援もしていきたい。

問 ふれあい教室を利用していない児童・生徒はどのくらいいるか。

教育長 小学生1人、中学生8人の合計9人である。

問 不登校の児童・生徒はふれあい教室を利用できるそうだが、利用している人数は。

教育長 小学校4人、中学校41人である。

子ども食堂の名称	開催日	開催場所	連絡先
曾於ふれあい食堂 大隅	第3土曜 11時～13時半	大隅シオン舎ふくろう(要予約)	080-2635-6025(新西)
曾於ふれあい食堂 川内団地	第1日曜 12時～14時	川内団地(予約優先)	080-2635-6025(新西)
曾於ふれあい食堂 末吉	第3日曜 12時～14時	そお生いき健康センター(要予約)	080-2635-6025(新西)
まるこ子ども食堂	第3土曜 11時半～13時半	財部町北俣1763-1(予約不要)	090-9578-1673(徳丸)
覚照寺ふれあい食堂みんなテラス	毎月1回日曜 11時～13時	大隅中央幼稚園(予約不要)	099-482-0384(坂中)
なないろ子ども食堂	第3日曜 12時～13時半	末吉町新町1-9-8(前日までに要予約)	080-6246-7716(小園)

かごしまこども食堂 地域食堂ネットワーク加盟一覧より ボランティアも募集しています

問 子ども食堂について民生委員の協力を周知してもらうことはできるか。

子ども食堂

市長 民生委員の役割は地域における貧困の支援、困っている人の支援活動なので、協力できると思っています。

問 子ども食堂の課題は周知やボランティアの継続的な協力だが、市報などで告知はできないか。

市長 市報への掲載やFMを使った掲載はできると思うが、担当課を含めて検討したい。

ちょっとひとりごと

資料館設置は平和学習で県内外からも学生や団体客が訪れるので、地域活性化にもなりますよ





魅力ある南九州獣医学 拠点にするための 2次診療施設を

市長／地元の要望を踏まえて検討を



一般質問の様子

問 産業動物獣医師が慢性的に不足する中、産業動物獣医師養成機関として財部高校跡地が整備されるが、鹿大だけでなく全国から獣医師学生を受け入れる施設として魅力ある施設でない并希望者がいなくなる恐れがある。獣医師会の先生方からは2次診療施設がなければ魅力的な施設にならないとの意見があるが当局はどのように考えているか。

市長 2次診療施設の必要性については、先の住民説明会で地元獣医師の先生から要望があった所であるが、現時点で大学からは、2次診療は行わないと聞いている。

問 地元として一番心配するのは、市が多額の資金を投入して施設を整備したが、学生が集まらず施設維持経費だけがかかってしまう

状況になることである。ランニングコストはどの程度と考えているのか。

企画課長 通常の経費は1900万円前後で、別途馬について2300万円前後と考えている。



南九州畜産獣医学拠点施設建設予定地

問 この施設は、鹿児島県内にとどまらず南九州全域の産業動物獣医師養成施設である、魅力的な獣医師養成施設にするためには2次診療施設が何としても必要と考える。早期の協議が必要と考えるが

市長の見解を伺う。

市長 2次診療施設に關しては、大学側の方針にも大きく影響するため、今後も継続的に地元からの要望も踏まえ協議したいと考えている。

医療費削減につながる健康寿命延長策

問 健康寿命を延長して、医療費削減を図る必要があるとの認識は共通していると思うが市長の見解は。

市長 共通している。

問 更に、フッ化物洗口が、長い目で見て健康寿命延長につながるとの認識も同じであるか。

市長 共通している。

問 フッ化物洗口に対する安全性について国の見解は。

市長 たとえ誤って全量飲み込んだ場合でも直ちに健康被害が発生することはないと考える。

問 今後、市内の児童・生徒へのフッ化物洗口実施について伺う。

市長 市としては、先行実施自治体の改善効果についての検証を行い、今後も保護者、教職員の理解が得られた上で判断していきたい。

ちょっとひとりごと

魅力ある
獣医師教育施設を！





一般質問の様子

ワクチン接種の計画について

市長 3月中旬より、5歳から11歳までの小児向け接種を開始する計画である。



コロナ感染症対策

問 コロナ感染状況は。

市長 2月23日現在で292人の感染者が確認されている。

問 学校の感染者対応(休校・学級閉鎖)は。

教育長 市の定めたマニュアルに従い、1〜4日間の休校や学級閉鎖の措置をしている。

農業振興

問 サツマイモ基腐病対策としてそお鹿児島農協の大型蒸熱処理施設の設置費、処理能力は。

農林振興課 既存施設の改良型で約630万円、1回で1000t処理できる。

問 財部・末吉に蒸熱処理施設の設置に向けて助成する考えはないか。

市長 今のところ検討していない。

種芋蒸熱処理機



問 農業所得保障対策として共済組合の農業収入保険の助成を志布志市・大崎町・鹿屋市と同じく3年間にできないか。

市長 現在、対象が青色申告者となっております。

白色申告者は対象でないのではありません。

農業経営収入保険制度の加入状況 (人)		
令和元年度	11	
令和2年度	28	
令和3年度	63	
主な作物の加入状況 (人)		
	かんしょ	茶
令和元年度	2	4
令和2年度	6	10
令和3年度	21	27

ふるさと納税

問 ふるさと納税の今年度の状況は。

市長 1月末日現在の寄附件数は8万3234件、寄附総額は、15億2754万円である。

問 都城市は12月末日で127億6992万円、志布志市は2月末日で50億8000万円、大崎町は2月末日で43億円と

聞いています。昨年は、曾於市は20億円だったが、減額の原因は何か。

商工観光課長

昨年は、コロナ禍の巣ごもり消費需要等で大きく伸びたが、納税者が同じ寄附金額で、より豪華な返礼品や量の多い返礼品に集中しているのではないかと予想される。今後、曾於市観光協会にふるさと納税の業務を委託して魅力ある特産品をアピールしていきたい。

ちょっとひとりごと

ふるさと納税は、大事な自主財源なのでより一層の創意工夫を





日曜祝日・夜間の保育や預かりサービスの必要性について、市長の见解は。



一般質問の様子

市長 令和元年のニーズ調査で、夜間利用の項目は調査していないが、日曜・祝日の利用需要は28.5%（月1～2回26.4%、ほぼ毎週2.1%）と少ないと考えている。

子ども・子育て支援事業

問 利用できるサービスがないために保護者が仕方なく働き方を変えた結果とも考えられる。この問題は、医療福祉従事者不足の解消にも繋がるのでは。

市長 夜間保育の重要性は認識しているが、提供できる施設がない。

問 施設に代わるサービスは。

保健課長 令和4年度から子育て支援センターの一時預かりを最長3時間まで延長する。

福祉課長 ファミリーサポートセンターを令和5年4月から開設予定である。

新型コロナウイルス感染症による自宅待機世帯の支援事業

問 陽性者や濃厚接触

者に対して食事や衛生用品の支給予定は。

市長 陽性者の周囲に支援者がいない場合は県の対応となり、濃厚接触者は生活必需品購入の短時間の外出が認められており、市の支援は予定していない。

問 小さな子どもや高齢者が陽性者の場合、家に残して外出できない濃厚接触者もいるのでは。

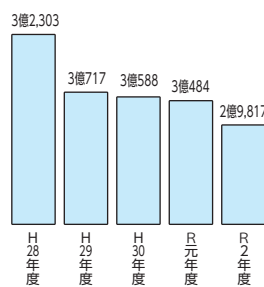
保健課長 要望等あれば前向きに検討する。困った時には、保健課へ相談を。

環境基本計画

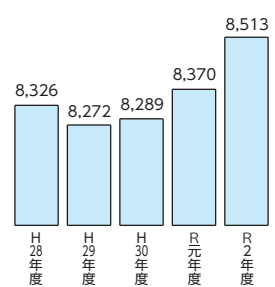
問 ごみの排出量と処理経費の推移は。

市長 次のとおりである。（※表を参照）

ごみ処理経費（万円）



ごみ排出量（t）



問 人口減に対し排出量減になっておらず、思いやりふるさと基金からもごみ処理費用が使われているようだが。

財政課長 ごみ処理費用として1億450万円を充当している。

問 家庭用生ごみ処理機器購入補助金制度のさらなる周知に加え、木製コンポストやワイフシヨップ等での補助金も検討していただき

たい。ごみ排出抑制に対する市長の见解は。

市長 クリーンセンターの耐用年数にも限りがあり、市民へごみ減量の協力をお願いしていく。

官民連携

問 総合的な専門部署の設置予定は。

市長 これまで各事業は所管する各部署で検討・実施してきたが、今後は総合部署の設置を検討する。

ちょっとひとりごと

ニーズ≠潜在ニーズ
子育て世代のライフスタイルは変化しやすい。
どうか継続的な調査を。





一般質問の様子

市独自のコロナ支援は

市長／農業応援給付金事業を展開する。



令和4年度施政方針
問 財源の見通しは。
市長 国の地方創生臨時交付金を活用する。

問 コロナ感染者への支援は。
市長 傷病見舞金を支給する。

ゆず搾汁センター増設
工事7億5000万円

問 搾汁センターの処理能力は。
市長 現状で1日処理量25tが、増設後43tの処理能力になる。

問 在庫が多いようである。商品開発、販売促進に努める必要があるのでは。
市長 果汁在庫が2年分337tある。販売対策に力を入れ努力していく。

コネクテッドカー

問 コネクテッドカーについて。
市長 通信機器を搭載した車で、住民票等の証明書発行などが可能である。

問 導入費用1500万円の費用対効果が見込めるか。
市長 十分な検証を行いつながりながら確立していく。



コネクテッドカーイメージ

地域振興住宅譲渡条例

問 譲渡可能な住宅数は何戸あるか。
市長 過疎債の償還が終わった、平成20年度・21年度建設の21戸が譲渡可能である。随時入居者に案内を通知していく。

財部地区分譲住宅地

問 整備費の総額、販売価格は。
市長 整備工事費総額は、約3億500万である。販売価格は坪2万5000円から3万円程度を予定している。



コネクテッドカー内部のイメージ

災害時の避難場所は

問 避難箇所整備計画は。
市長 市内各小学校区1箇所を基本とし現在20箇所あるが10箇所の整備が必要であると考えている。特に収容人員が少ない月野校区の避難所などを優先的に5年度から年2箇所程度を整備していきたいと考えている。

ちょっとひとりごと

避難所の整備を急いで





曾於市の女性管理職が0人であるが、その原因は何か？



一般質問の様子

市長 市が設定している女性活躍の目標の周知が足りていないため、そのため職員全体の意識が改革されておらず、研修も不足していた。

問 毎年数値目標を出すにも関わらず、意識が不足というのは解せない。他に問題はないのか。

総務課長 人口減少に伴い職員も減り、管理職の業務がますます多忙になっている。そのため女性が幹部職員に出世するのをためらう傾向にある。係の統合なども見据えながら、業務の平準化などを進めて特定の職員に仕事が集中することをなくせる努力をしていく。

地域コミュニティ活性化推進事業

問 自治会なども地域コミュニティについて理解が追いついていないようにも見えるが、現状の認識は。

総務課長 1年ごとに自治会長が変わる地域

もあり、地域コミュニティの理解の浸透に課題がある。

問 自治会と地域コミュニティの差別化できる点は。

総務課長 地域課題の解決のため、企業や地域外の人も巻き込める点である。

問 営利を目的とする企業をどのように巻き込むのか。

総務課長 地域コミュニティ協議会自体の周知不足もあり、今後の検討課題である。

ふるさと納税

問 ふるさと納税の拡大の取り組みは。

市長 商工観光課だけでは額を伸ばせなく

なってきたっており、観光協会に協力をもらって拡大を目指していく。

問 観光協会に委託する理由は。

市長 観光協会の収入が少なく、ふるさと納税を通じて利益を上げたいからである。



曾於市のふるさと納税返礼品は黒豚・黒牛を中心とした魅力的なラインナップだが近年は納税額が停滞気味…。拡大目指して頑張ろう！

外国人定住支援

問 現在の曾於市の外国人の人口とその支援策は。

市長 現在の外国人は386名であり、県と協力して日本語や生活習慣のサポートを行っている。

問 第2次曾於市総合振興計画にも外国人支援に割かれたページがないが市長の認識は。

市長 外国人労働力は曾於市内の大手企業、大規模農家にとって欠かせないものである。今後検討して計画に盛り込む。

ちょっとひとりごと

女性の活躍できる街が人口が増えるんですよ！

